

「省エネルギー学習会」

会議年月日	30年9月7日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	石垣、下田、山田、平手、高橋、増永、難波、大塚、大前、新田、加藤、遠藤、長門、春田(記)				

議 題

9月度「省エネ学習会」を開催した。

1, 上手な省エネ(平手 彰:OBN)

- ・「省エネ」マニュアルは、読んでも分からない。スマホのマニュアルと同じ。あれこれが多すぎる。
- ・ガマンは、リバウンドする。快適は工夫次第。
- ・集合住宅＝開口部の工夫を。戸別住宅＝集合住宅への移住、PV設置を薦める。
- ・電気・ガス・灯油の消費量を見える化する。
- ・開口部の工夫＝夏:遮熱、排熱。冬:気密、断熱。開口部は空気(暑い・寒い)の通路。
- ・ZEH(ゼロエネハウス)は、CO2を出さない(満足)と快適。

2, 映画「不都合な真実2」試写会 (アンケート結果)

Q1 多くの人に見てほしいか？

①	より多くの人に見て欲しい	11	85%
②	何とも言えない	1	8%
③	お薦めしない	1	8%

コメント

- ・パート1を見た時の反響は良かった。この映画は集客面で問題がありそう。
- ・政治色が強い。リテラシー能力が必要。退屈な人も多いのでは。
- ・内容は良いが政治色がある。市主催としてはどうか？
- ・アルゴアの活動の舞台裏が垣間見える。大人の論客にじっくり見てもらう工夫が必要。
- ・字幕が見えにくい。視力障害者には無理。
- ・ハリケーンの強大化による影響(死者多数)は現実である。この点を強調して化石燃料を止めたい。
- ・100分を60分程度に短縮できないか？
- ・見ごたえのある映画であった。
- ・子供には、後半部分を解説付きで見せたい……。
- ・COP24が上手く行くように……
- ・ゴアの自己宣伝。舞台をもっと広く。
- 「レジリエンス」(resilience)は、一般的に「復元力、回復力、弾力」などと訳される言葉で、近年は特に「困難な状況にもかかわらず、しなやかに適応して生き延びる力」と理解されています。日頃の市民の繋がりが、大きな災害時に役立ちます。温暖化と災害は切り離せません。

Q2 「親子連れ」を対象にしても良いか？

①	少々難しいが鑑賞に値する	4	31%
②	小学校4年生以上であれば	0	0%
③	何とも言えない	1	8%
④	子供は苦痛の100分間となる	3	23%
⑤	無理	5	38%

<次回予定>

日時＝10月5日(金) 13:30～15:30

会場＝流山市生涯学習センター(3F)大会議室

内容＝流山市における都市ガス普及の歴史(くらしの変遷とガス)と、最近の省エネ動向(講師:筒井義憲)

以上